

天使病院を受診された患者のみな様へ

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんのでお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

研 究 課 題 名	2022年出生児を対象としたハイリスク新生児医療全国調査
研 究 の 対 象	2022年1月1日から2022年12月31日に出生体重1000g未満で出生した新生児（超低出生体重児）ならびに在胎28周未満で出生した新生児（超早産児）
研 究 目 的 ・ 方 法	本研究の目的は、2022年に出生した超低出生体重児ならびに超早産児の死亡率を明らかにするとともに、過去の調査と比較してどのように変化しているのかを明らかにすること、さらには死亡率に影響を及ぼす要因を検討することです。またわが国の周産期医療の特徴として、超低出生体重児・超早産児の死亡率は諸外国と比べて著しく低い一方、未熟児網膜症や慢性肺疾患といった、早産児特有の合併症の頻度が高いことが分かっています。本研究ではこれらの合併症の発生頻度についても調査を行い、わが国における現状を把握、諸外国との国際比較を行う際のデータとして使用するとともに、今後のわが国の周産期医療の更なる発展につなげることを目的としています。またわが国では2017年に日本母乳バンク協会が設立され、早産児に対するドナーミルクの使用が徐々に普及しつつあります。本研究ではドナーミルクをはじめとする早産児に対する栄養管理が超低出生体重児・超早産児の予後にどのような影響を及ぼしているのか検討することも目的としています。研究実施方法：下記に示す項目について、対象の患者の診療録よりデータを抽出させていただきます。 出生体重、在胎期間、性別、新生児搬送・母体搬送の有無、分娩形式、母体へのステロイド投与の有無、臨床的絨毛膜羊膜炎の有無、妊娠高血圧症候群の有無、児が入院した日齢、NICU入院中の栄養管理（ドナーミルク使用の有無、静脈栄養の有無、退院時の栄養法包など）、児の合併症（壊死性腸炎、新生児限局性消化管穿孔、慢性肺疾患、未熟児網膜症、嚢胞性脳室周囲白質軟化症、脳室内出血）、児の転帰（自宅退院、転院、死亡）、主たる死亡原因、退院時の体格、在宅医療の有無 （氏名、生年月日、住所、電話番号など個人を特定可能な情報は含まれません。）
研 究 期 間	2024年12月末日まで
研 究 に 用 いる 試 料 ・ 情 報 の 種 類	対象の患者の診療録よりデータを抽出させていただきます。
外 部 へ の 試 料 ・ 情 報 の 提 供	本研究の結果は日本小児科学会新生児委員会で解析を行い、委員会報告として日本小児科学会雑誌および学会ホームページならびにこども家庭科学研究費報告書として公開されるほか、日本小児科学会学術集会での学会発表、国内外の学術論文誌への投稿が予定されています。
外 部 か ら の 試 料 ・ 情 報 の 提 供	なし
研 究 組 織	研究代表者 日本小児科学会 新生児委員会 委員長 飛弾 麻里子 連絡先 日本小児科学会事務局 〒112-0004 文京区後楽1-1-5 水道橋外堀通りビル4階 TEL: 03-3818-0091 FAX: 03-3816-6036
問合せ先及び研究への 利用を拒否する場合の 連 絡 先	〒065-8611 北海道札幌市東区北12条東3丁目1-1 社会医療法人 母恋 天使病院 （所属）小児科 （氏名）高橋伸浩 TEL: 011-711-0101(代表) FAX: 011-751-1708